

平成 17 年 10 月 28 日

各 位

本 社 所 在 地 栃木県足利市南大町 4 4 3 番地
 会 社 名 株式会社 タ ッ ミ
 代表者の役職氏名 取締役社長 山 本 千 秋
 コ ー ド 番 号 7 2 6 8
 問 合 わ せ 先 業務部長 井 上 雄 象
 T E L (0 2 8 4) 7 1 - 3 1 3 1

平成 18 年 3 月期中間期の業績予想との差異について

平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 17 年 5 月 10 日付当社「平成 17 年 3 月期決算短信 (連結)」及び同日付当社「平成 17 年 3 月期個別財務諸表の概要」にて発表しました業績予想を、下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期 中間期(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)業績予想数値の修正

(1)連結

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	2,895	108	68
今 回 修 正 (B)	2,929	140	90
増 減 額 (A - B)	34	32	22
増 減 率	1.2%	29.6%	32.4%
参考 (平成 17 年 3 月期 中間期)	2,806	105	50

(2)個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	2,637	60	29
今 回 修 正 (B)	2,660	71	37
増 減 額 (A - B)	23	11	8
増 減 率	0.9%	18.3%	27.6%
参考 (平成 17 年 3 月期 中間期)	2,577	87	40

(3)修正理由

・当期純利益

(個別) 売上高は、主力とするブレーキ用部品の好調に支えられ 23 百万円の増収となる見込みではありますが、営業利益が原材料の高騰と材料入手難に伴う工場オペレーションロスにより、当初計画比 14 百万円の減益 (23.0%減) となる見込みです。

また、経常利益は、為替差益等の計上により当初計画比 11 百万円の増益、当期純利益は、特別利益に厚生年金基金の代行部分返上益 (過去分) が 10 百万円計上されたため 8 百万円の増益となる見込みです。

(連結) 上記理由に加え、持分法適用メキシコ関連会社の業績が上昇し、経常利益は当初計画比 32 百万円の増益、当期純利益は 22 百万円の増益となる見込みです。

2. 平成 18 年 3 月期通期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)業績予想数値
連結・単体とも当初の業績予想数値に変更はありません。

(参考)

(1)連結

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想	6,020	273	167

(2)個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想	5,500	170	84

(3)下期の概況

売上高は、自動車業界の好調に支えられ、当初計画通りの数値が維持出来る見込みです。

経常利益・当期純利益は、原材料費上昇分の製品価格への転嫁が困難な状況であり、引続き予測される材料の入手難に伴う工場オペレーションロスも懸念事項となっており、依然として厳しい状況ではありますが、内部改善努力により、当初計画は変更せず推進してまいり所存であります。

以 上